

避難所のコロナ対策は

町長 分散する手法で三密を回避したい



前半



録画を配信

後半

治水対策 国の新事業は

問 今年度国が新たに創設した「緊急※浚渫推進事業」に該当する準用河川（町管理の河川）の把握は、

建設水道課長

パトロールなどに

より土砂堆積の著しい箇所、倒木が見られる箇所など、人家に影響を及ぼす恐れのある箇所について、十分精査を行ってまいりたい。

町長

準用河川などに入組んでいる場合が多く、今まで倒木もなかなか処理できなかった。この事業につい



丸川雅春議員

ては地権者との調整をきっちり行っていないかなければならない。

水位の把握は

問 激しい降雨時に

おける河川の水位の変化は、どのような方法で把握しているのか。

総務課長

最上川については、菖蒲観測所においてデータが収集されている。小鮎貝川、貝生川については、危機管理型水位計が設置されていて、パソコンなどで確認できる。その他の河川については、水防団や自主防災組織からの情報で把握している。

問 危機管理型水位計の活用方法を掲載してはどうか。

総務課長

町民の方誰でも確認できるので、アクセスしやすいようにリンクするような形にしていきたい。

避難所の予防対策 予防対策全般は

問 避難所における新型コロナウイルス感染予防対策は。

町長

分散する手法で三密の回避を意識した新たな形が必要になると考えている。避難所においては体温測定を行うほか、咳エチケット、手洗いなどの励行に関するチラシを配布して、マスク、消毒液などは町でも準備を進める。そして、各地区自主防災組織や施設管理者と情報共有を行い、連携を図りな



がら、安心していただける避難所運営に努めてまいりたい。

分散避難の施設は

問 広範囲にわたる大規模な災害になれば分散型の避難施設と数については。

町長

数については一概に言えないが、分散という考え方は分館等を念頭に置きながら、地域の自主防災組織と連携して状況に応じて判断するしかないと思う。

暑さ対策は

問 感染予防のマスク着用での暑さ対策は。

総務課長

空調設備がある施設は

それを活用し、それ以外では窓を開けて扇風機の使用になる。停電も考えられるので状況を加味しながら検討していきたい。

誹謗中傷対策は

問 発熱など感染が疑われる人への誹謗中傷対策は。

町長

これは人間としてどう生きるべきなのかということだと思う。個人情報と表現の自由を守ることも必要であり、この辺の整合性の取り方は、はるかに私の能力を超えた部分での議論になると思う。お互いの信頼で、そういうことがない社会をつくるために一致団結して機運を盛り上げていくしかないと思う。

※浚渫：河川などの底面をさらって土砂などを取り除く工事